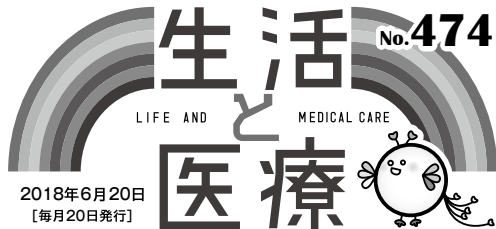
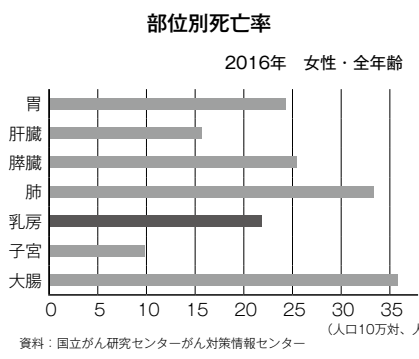
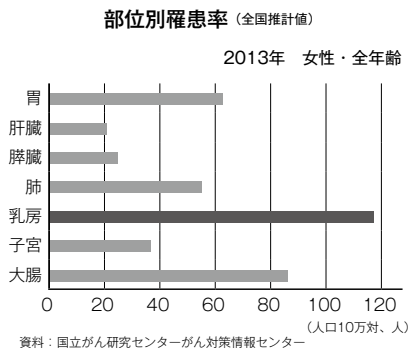


組織の現況 (2018年4月30日現在)	
組合員数	56,000名 (前月比 +29名)
出資金総額	975,859,500円 (前月比 +346,000円)
1人平均出資金	17,426円 (前月比 ±0円)
班数	424班



高知医療生活協同組合
 〒780-0963 高知市口細山206-9
 TEL 088-843-0025 FAX 088-840-0649
 発行責任者 今井好一
 編集 「生活と医療」編集委員会
 ホームページ
<http://www.kochi-hco-op.or.jp/>
 定価 1部 30円 (組合員の購読料は出資金に含まれています)



▲マンモグラフィ検診施設画像認定証

出資金のお知らせ
 (出資金現在高) について

2017年度出資者への、出資金のお知らせ通知の発送は7月中旬の予定です。

乳がんは治るがん

女性において乳がんは、罹患率は1位、死亡率は5位となっていて、11人に1人が乳がんにかかり、67人に1人が乳がんでなくなるといわれています。しかし、早く見つけることで完治す

早期発見

乳がん検診で早期発見することも可能ながんでもあります。乳がん検診は、基本的には40歳以上でマンモグラフィを受けていただきます。40歳代の人は乳腺超音波検査の併用検診をお勧めします。40

早期発見

年齢以下の方でも検診を受けることは可能で、マンモグラフィ・超音波併用検診をお勧めします。また、乳房のしこり、乳頭からの分泌液、乳房の痛みなど、気になることがあれば早めに外科を受診してください。

正しい診断を

外来診察ではまず触診、マンモグラフィ・超音波検査を行います。これで行くが疑われた場合は、細胞診検査と言って、注射器の針をしこりに刺して細胞を吸い取り、がん細胞があるかどうかをみて診断をつけま

専門外来で安心の治療

高知生協病院では、乳がん検診から乳がんに対する外来診療・治療を行っており、日本乳がん検診精度管理機構認定の医師・放射線技師・検査技師がマンモグラフィ・乳腺超音波検査を担当しています。ガイドラインに沿った診療を行い、また場合によっては他院の乳腺専門医とも協力しながら診療を行っています。乳腺で気になることがありましたらいつでも受診してください。

40歳を過ぎたら乳がん検診

高知生協病院 外科 川村 貴範

乳がんは、女性のみならず男性にとっても大きな関心事の一つに当たっていると思います。日本乳がん学会が作成した「患者さんのための乳がん診療ガイドライン」にも、40歳代より乳がんにかかる危険性が高くなるので、40歳以降は最低でも2年に1回は乳がん検診を受けるようにと推奨しています。



外科・乳腺外科 川村貴範医師(左)・岡添友洋医師(右)

乳腺エコー (検査科)

乳房に超音波を当てて映し出された画像を確認する装置で、小さなしこりを発見することに優れています。



マンモグラフィ装置(放射線科)▶ 乳房を圧迫して薄く平らにした状態で撮影し、しこりや石灰化などの異常を確認します。

この文章を読んで、自分たちは生協運動でみんなが協力してくれない時は不平不満ばかりで人の悪口を言っていたなと思ったり、これからは無理をせず、出来ることから挑戦していこうと思えました。

「3ない運動」

- ①不平不満を言わない
- ②人の悪口を言わない
- ③嘘を言わない

いたって単純で当たり前のことですが、皆様できていますでしょうか？

まず「3ない」を親が実践し、子どもや若い人たちにお手本を示していただきたいと思います。

親が道理に反することをやっていると、子どもの人格や人間そのものを破壊してしまう、と親は認識しなくてはなりません。

子どもは親の後ろ姿を見て育ち、親の歩いた道をもつてまなぶことになるのです。子どもにとっての親はいつまでも生きる支えであってほしいと切に願います。(抜粋)

ふれあい

高知新聞の声ひろばに「世のお手本をやる」という題で、心にチクリと刺す思い当たる文が出ており、参考にしていかなければと思いましたが紹介し